

施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部					
3-②	自然環境の保全を推進する	環境部、まちづくり政策部					
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	計画 策定時	実績値				目標値 31年度
			27年度	28年度	29年度	30年度	
里山保全活動への参加者数（年間）	人	388	440	476	478		400
環境学習への参加者数（年間）	人	1,020	963	1,080	1,701		1,100
関連事業							
○里山保全推進事業○環境活動促進事業○西部丘陵地域資源まちづくり支援事業							
決算額							
	28年度	29年度	30年度	31年度			
事業費（千円）	1,260	1,240					
執行率（%）	100	97.33					
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
<p>●里山保全モデル事業（6回）及び「市民と大学生による里地里山再生プロジェクト」（3回）に延べ400人余りの市民が参加し、身近な自然環境に触れることで、環境意識の啓発につなげました。</p> <p>●環境活動実践者への支援や会員相互の交流を図るとともに、環境活動を率先して行う市民を養成する環境市民講座を開催しました。また、緑化まつりや環境フェアでの啓発活動及び子ども環境教室（川編、里山編、海岸編）を実施しました。</p> <p>●地域や学術機関などとの連携により、地域資源を活かした里山保全の管理活動に関するワークショップを開催するとともに、地区まちづくり協議会が吉沢八景をとおして地域の魅力をPRするガイドブックの作成及び散策コースなどを示した案内板や吉沢八景へ誘導するサイン板の設置に対し、市民活動ファンドによる助成などの支援を行いました。</p>							

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
<ul style="list-style-type: none"> ●里山保全活動には、地元自治会や地権者の協力・理解と多くの市民参加が欠かせないため、モデル事業の継続と、より地域に密着した取組として展開する必要があります。 ●環境への関心が低い市民に働きかけ、意識の向上を図るとともに、特に若年層の市民の環境保全に向けた主体的な行動が必要です。 ●西部丘陵地域の自然資源や地域資源を活かした交流やレクリエーションの場づくりが必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ●より多くの市民参加を促すため、生物多様性の保全を意識した活動と、里山に関わる情報を発信することで市民の関心を誘発し、市民主体の里山保全活動を促進します。 ●幅広く市民に関心を持ってもらうため、環境フェアを大型商業施設で開催するなど、環境教育を推進します。 ●里山保全管理活動を引き続き実施するとともに、地域や学術機関等との連携により、地域の基幹産業である農業を活用した取組の研究などを進めます。